

2020年度 JIA オープンデスク・大学院インターンシップ 受入事務所登録のお願い



JIA では、建築家を志す学生に対し、会員建築家の事務所がその門戸を開き、制作活動に接する場を提供する事により、JIA が建築家教育の一端を担うことを目的としたオープンデスク制度を1989年より毎年度実施しております。

また、建築士法の改正に伴い、建築士試験の受験資格要件のうち、大学院におけるインターンシップが必須になったことを受け、その場を提供すべく、2011年から大学院インターンシップ研修制度を行っています。より多くの学生に機会を提供する為に、ぜひ受入のご登録を頂けますようご協力お願い申し上げます。

学生の受入をご了解いただける事務所は、4月10日(金)までに下記 URL または QR コードから登録をしてください。※過去に登録した方も再度登録が必要です。

<https://forms.gle/W5AtBiMZNw4bpJUx8>



オープンデスクの概要

趣 旨：建築家を志す学生に対し、会員建築家の事務所がその門戸を開き、制作活動に接する場を提供する事により、JIA が建築家教育の一端を担う

オープンデスク対象学生：各教育機関において建築学等を専攻する学生とする。

受入期間：学生の受入れは、毎年7月1日から翌年3月31日までに行うものとする。

選 考：希望学生は定められた申込書を期限までにJIAに提出し、JIAにて希望事務所毎に仕分けし各事務所宛に送付する。原則的に受入事務所は選考結果を6月下旬までにJIAに通知する。

受入態勢：受入事務所は適用学生のために可能な限り勉学の場を提供するとともに、本制度の目的に添うよう、その便宜を図り勉学を指導、援助する。（この制度はアルバイトではありません。

勉学する場を与え、可能な範囲で指導してください。例として現場見学、所長によるレクチャー、学生作品のクリティーク等がありますが、その方法についてはお任せします。）

大学院インターンシップの概要

趣 旨：JIA では建築士法の改正に伴い、建築士試験の受験資格要件のうち、大学院におけるインターンシップが必須になったことを受け、その場を提供すべく、2011年からこの研修制度を行っています。

オープンデスクとの違い：大学院インターンシップは、大学院の教育プログラムです。あくまで当該大学で求める実務教育に協力することを目的とします。オープンデスクは、建築家側が提案する実務教育ですので、その違いをご理解いただくよう、お願いいたします。

受入事務所としては「実践的な能力を培うことができる実習内容であること」・「建築士（または建築設備士）が指導を行うこと」が前提となります。また、長期間の研修となり、学校によって指導要領が異なるため、教育機関との密接なやり取りが発生いたします。

対象学生：各教育機関において建築学等を専攻する大学院生とする。

受入期間：学生の受入れは、毎年7月1日～翌年3月31日までに行なうものとする。

選 考：JIA から登録事務所のリストを大学院に送付し、大学院側から登録事務所へ直接学生の受入打診により選考する。学生の受入が決定すれば、JIA に報告する。

受入態勢：所属教育機関の担当、若しくは担当教員と受入事務所がカリキュラムの調整を行い、研修を実施する。

■問合先（オープンデスク・大学院インターンシップ共通）

公益社団法人 日本建築家協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 4 階

T E L : 03-3408-7125 F A X : 03-3408-7129 E-mail : od@jia.or.jp

<http://www.jia.or.jp>